

平成26年度入学試験問題（推薦入試Ⅰ）

## 小論文

農学部 亜熱帯生物資源科学科

### 注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙のほかに、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、90分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

## 問 題

次の文章を読んで、問 1、問 2 に答えなさい。

非公開

(遺伝子組換え実験安全対策研究会、『カルタヘナ法ガイドブック』、財団法人バイオインダストリー協会、2006年8月発行、ページ4、抜粋・一部改変)

- 問 1 カルタヘナ法では、遺伝子組換え技術等によって作成された自然界に存在しない生物が自然環境に流出することによる生物の多様性に対する影響を防ぐための規則が定められている。それでは、生物の多様性はなぜ守らないといけないのか。あなたの考えを 400 字以上、600 字以内で記述しなさい。
- 問 2 2011 年、沖縄でも法による承認を受けていない遺伝子組換えパパイヤが検出され、出荷の最盛期に大打撃を受けたことがあった。ところが、カルタヘナ法の締結をしていないアメリカやカナダなどの国はこのような打撃を受ける心配はないと思われる。あなたは、このような現状をどう考えるか。400 字以上、600 字以内で記述しなさい。

## 平成26年度入学試験問題（推薦入試Ⅰ）

# 小論文

### 農学部 亜熱帯生物資源科学科

#### 出題の意図

本学部は、沖縄の亜熱帯島嶼性という地理的・自然的環境条件及び歴史的・文化的特性を生かし、生物の生存環境と人間との共生を目指して、安定的・持続的な生物生産、環境保全及び生物資源の有効利用に関する教育研究を行い、地域社会並びに国際社会の発展に貢献することを理念としている。その中で本学科のアドミッションポリシーの1つとして「生物資源の利用・開発及びバイオテクノロジーに関心のある人」を上げている。

本学科では、生物資源の有効利用のためのバイオテクノロジーを用いることがあるが、本テクノロジーは適切に使用しないと生物の多様性ひいては生態系に悪影響を与える可能性がある。

問1では、どうして生物の多様性を守る必要があるのか？その考え方を問う質問である。遺伝子組換え生物の自然環境への流出によって生物の多様性にどのような影響が出て、生物の多様性が崩れると生態系がどうなるのか、生態系の崩壊が人類にどのような影響を与えるかなどの知識と考え方を問う問題となっている。

問2では、生物の多様性を守るためのカルタヘナ法への締結を行っている国とそうでない国があり、どうしてそのようなことが起こっているのか、その結果どのような影響が出る可能性があるのか？を問う質問であり、それぞれの国の国益にかなう農業政策や生物資源の利用に関する知識や考え方を問うと共に、守っていない国があった場合、地球全体の生物多様性がどのようになるのか？について洞察力を問う問題となっている。